

宗谷南農協通信

No.013



- 第13回通常総会
- 枝幸町に2200万円を寄付
- 女性部講習会
- 宗谷地区農協監事夏期研修会
- 道北フラック&ホワイトショウ
- 公共育成牧場一斉入牧

- 宗谷酪農セミナー・新規就農フェアが開催されました!
- えさし探究 ファームAYNIで特別授業
- 巡回ドック
- 授精所だより
- 農作業事故防止対策



は、不安定な社会情勢、世界情勢から穀物や燃油、生産資材の高騰など不安な幕開けとなりましたが、経費の削減や損失を防ぎ組合員の負担をできるだけ軽くし経営を安定させていくという事を徹底していかなければならないと述べ、今日の議案審議では、是非建設的な意見を頂きたいと挨拶しました。

議長には、大塚悟さんを選任し、議案第1号「定款の変更」から始まり、議案第8号「役員の選任」まで全議案、賛成多数で可決されました。

総会閉会にあたり、向井地組合長は大塚議長にお礼と、ご来賓の皆様には最後までご出席して頂いたお礼を述べた後、農協の赤字運営の早期解消や一定の家族形態で、どのようにに労働力を確保できる





新任されました
寺前吉幸監事



新任されました
筒井正道理事

か、また働き方改革など労働環境が変化していく中でも、経費節約を行いながら労働生産性をあげる、そこに徹していけば当農協は堅実な経営が維持できると考えていると述べ、また組合員の皆様におかれましては、今年は乳価が下がり、資材等も高騰している事から自分の所得確保の為、経費削減など徹底的に所得確保に向け行動すれば、所得は確保できると思いますし、農協としても、皆様のご意見を頂きながら運営していきたいと思えますと話し、最後に御退任される木村浩理事、米内潤二監事に対し、色々な課題・難題があった中で、両名から適切なご意見やご指摘をして頂き今の農協運営を維持できていると感謝の気持ちを述べ締めくくりました。

総会後の理事会で組合長、各委員、監事会で代表監事が決定されました。

理 事

代表理事組合長

総務委員長

業務委員長

営農生産委員長

総務副委員長

業務副委員長

営農生産副委員長

向井地信之理事

下山勲理事（組合長代行）

小野寺俊一理事

吉田明彦理事

山崎幸夫理事

小林政夫理事

筒井正道理事（新）

監 事

代表監事

平田勝一郎 監事

福井金吾 監事

寺前吉幸 監事（新）



退任される
木村浩理事（中央左）
米内潤二監事（中央右）



永年勤続表彰
君ヶ袋 泰浩係長



激励状を受取る
高橋 真彰さん



激励状を受取る
中新井田 光さん

表彰状授与者

枝幸町に

2200万円を寄付

6月7日、農業振興・新型コロナウイルス対策に役立ててもらう為、当農協より枝幸町に2200万円を寄付致しました。

当日、向井地組合長は枝幸町役場を訪れ、「酪農の発展には町の支援があつてこそ。組合員の感謝の気持ちを受けて頂きたい。」と話し、農業振興に2000万円、新型コロナウイルス対策に2000万円の目録を村上町長に手渡ししました。村上町長は、「毎年多額の寄付に感謝しております、今回も目的に沿って有効に活用させて頂きます。」と感謝の気持ちでお礼を述べました。



北海道酪農検定検査協会道北事業所
大屋 啓支所長



女性部講習会

5月31日、酪農振興センターで宗谷南農協女性部の開催で、講習会を行いました。講師に北海道酪農検定協会道北事業所、大屋啓支所長を迎え、集乳旬報の活用方法を教えて頂きました。

当農協の2018年から2021年の数値を元に、乳量、無脂固形が現時点で過去最高で推移しているところから説明が始まり、各検定項目の活用方法を解説、生菌や細菌の増加の原因や予防法など詳しく教えて頂きました。

また参加者の皆さんからは「放牧中など乳が臭うのですが?」「ランシッドとは、どんな匂いか?」などランシッドについての質問が多く、ランシッドとは、餌を変えたり牛の体調が悪かったりと、牛の体調が原因で飼料臭・酸化臭・施設臭が生乳から発生する異常風味のことだそうです。

ランシッドが起こる目安の中に、遊離脂肪酸(FFA)の数値が上げられ、2.0%を超えると風味に影響が出て、生乳が廃棄処分になると元に戻るまでに1週間程度かかってしまうこともあるそうです。

予防としては、脂肪球菌を壊さない、粗飼料の質や量をバランス良く与える事、または獣医師に相談することだそうです。

こうして集乳旬報の見方や活用方法の講習を無事に終える事が出来ました。講師の大屋啓支所長有難うございました。

宗谷地区農協監事

夏期研修会

6月8日、酪農振興センターで宗谷地区農協監事研修会が行われました。担当は、浜田管理部部長が講師を務めました。

管内より稚内農協1名、北谷農協2名、東谷農協3名、J A北海道中央会旭川支所より高砂次長をはじめ、3名が出席しました。

研修は、J A宗谷南の経営概況から始まり、令和3年度の管内J Aの決算概要、J A経営を巡る情勢について、農業振興・J A運営ヒアリングの取り組み方、最近の不便な様子など、受講者も大変な様子でした。

監事研修は、年に数回行われますが、健全な農協運営の為に、宜しくお願い致します。



道北ブラック＆ホワイトショウ

5月16日、豊富家畜市場で道北ブラック＆ホワイトショウが開催されました。

ブラック＆ホワイトショウは令和元年以来3年ぶりの開催となり、乳牛72頭が出品され、乳牛としての資質を競い合いました。

審査委員には、上士幌町の酪農家、吉田智貴さんが務め、グランドチャンピオンにふさわしい乳牛の選抜を行い、苫前町の中嶋卓広さん出品の「クレタス レデイス ソロモン ギャルパラ」がグランドチャンピオンに輝きました。

当農協からは、4件7頭が出品されました。3部で小椋義則さん出品の「オムラ CB エントリーET」が3部1位となりましたが、惜しくも未經産のチャンピオンには届きませんでした、他に出品された乳牛につきましても甲乙つけがたい素晴らしい乳牛でした。



3部1位の オムラ CB エントリーET

道北ブラックアンドホワイトショウ出品者 (JA宗谷南)

部	名 号	出品者
1部	オムラークレスト レネゲート	小椋義則
2部	ポールスター バロン インプレッション	高橋慶大
2部	M.F. トラミルダ ブラデルタ ミリーET	関口真也
3部	オムラ CB エントリーET	小椋義則
3部	M.F. ロベル アンデイナイド	関口真也
3部	KON エミール ANDY ミーナET	今 賢二
11部	オムラ フジサン ブラックET	小椋義則

公共育成牧場一斉入牧

5月26日、枝幸町公共育成牧場で一斉入牧が行われ、町内若手酪農家・町職員・アグリサポート職員・農協職員等で作業に当たり、およそ200頭の育成牛の体重測定や健康状態などを確認し放牧地へ放ちました。

前日に舎飼いから放牧地へ移動した340頭と合わせ、540頭の育成牛がストレスなく一夏を過ごし、秋には妊娠牛となり自宅の牧場へともどります。



宗谷酪農セミナー・新規就農フェアが開催されました!

6月10日
酪農学園大学



6月11日
札幌コンベンションセンター



6月10日、酪農学園大学で宗谷酪農セミナーが開催されました。学生を対象に行い枝幸町のブースには5名の学生が着席し枝幸町での酪農に関する仕事や新規就農について説明しました。又翌日、6月11日は、札幌コンベンションセンターで新規就農フェアが開催されました。来場者200名で枝幸町のブースには学生や農業に興味がある5名が着席し酪農体験受け入れや就農支援体制、宿泊施設・交通費の助成等を説明し枝幸町で開催される就農セミナーの周知も行いました。

えさし探究 ファームAYNIで特別授業

6月7日、枝幸ふるさと教育プロジェクトによる「第2回えさし探究」では枝幸高校一年生が公共育成牧場、ファームAYNIを訪れ特別授業を受けました。

当日は、あまり天気が良くない中、42名の生徒が2グループに分かれ(株)アグリサポート枝幸の安部専務、若山常務から牛の耳標、ロボット搾乳について、牛の種類の違い、どのような生活をしているか等の説明を受け牛舎内の見学をしました。

その後、生徒からは「子牛の体重は、どのくらいあるか?」という質問に「1頭あたり約45kg」と質問に答えていました。



巡回ドック

4月13日～16日の3日間旭川厚生病院による巡回ドックが行われました。

巡回ドックは、普段忙しくて、中々病院へ行けない組合員のため、地元へ検診車を向けて病気の早期発見・早期治療を目的とし実施されています。

普段は、気が付きづらい様な病気などが隠れている事もありますので、自身の健康状態を知る為にも是非、巡回ドックを受診して頂きたいです。



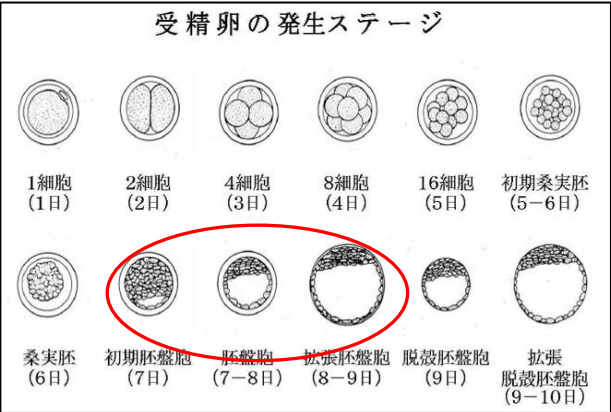
授精所便り ～ 胚・胎児の発生と胚死滅 ～

□ 0～7日 受精（授精ではない） 15～20%死滅!?

人工授精実施後、精子は6～8時間かけて卵子（卵管）に向かって泳いで行き受精します。この時点で15～20%程度が何らかの問題でその先の発生が止まります。

□ 7～22日 胚盤胞～着床 20～25%死滅!?

卵管で受精後、受精卵はゆっくりと子宮に向かって行きます。7日後には、細胞分裂を繰り返して胚盤胞（通常、受精卵移植に用いる受精卵はこの辺りで回収）まで発育します。14日後くらいに伸長を開始、22日までには反対の子宮角まで胎膜を伸長し着床を開始します。



胚盤胞

□ 22～45日 着床～胎盤、器官形成完了 8～18%死滅!?

受精後、30日辺りで着床が完了、細胞の分化・器官形成が始まり牛っぽい形になっていきます。このころからPAGs、エコーなど早期妊娠鑑定が可能になります。40日以降は直腸検査による妊娠鑑定も可能になってきます。



□ 45～280日 器官形成完了～出生 5%以下

40～50日を過ぎると出生まで死滅（流産）率は5%以下となります。

胚・胎児発生過程と死滅率			
胎齢（日）	発育過程	死滅（％）	生存（％）
0	受精	15-20	80-85
7	胚回収・移植	8-9	20-45
14	胚の伸長開始		
19	胎膜反対側に伸長		
22	着床開始		
30		8-18	55-60
42-45	胎盤、器官形成完了	30-50	45-50
280	出生	5	40-45

受精卵移植では正常に発育した胚を使う為、0～7日間の死滅率を除外できるので、受胎率が良いと言われています。

器官の分化形成されるまでを胚、それ以降を胎児と呼んだりします。（※厳密にはない）

家畜体内受精卵移植に関する講習会
受精卵の生理と形態より引用

□ まとめ

牛の体調や飼養管理などの影響や個体差はもちろんありますが、牛は無事受精を達成しても出生に至るまで、目に見えないものも含め約半数以上は死滅（流産）すると言われています。特にその大部分は40～50日以前に起こります。そのため、早期妊娠鑑定でプラスでも安心せず40～50日を過ぎてからもう一度妊娠鑑定を行ってください。

農作業事故防止対策

令和2年の全国の農作業死亡事故件数はおよそ270名で、事故区分別では、農作業機械作業によるものが、186人、農業用施設作業によるものが8人、その他によるものが76人となっています。

また、年齢別階層では、65歳以上の高齢者による事故が229人と死亡事故全体の85%を占めている状況となっています。（農研機構調べ）

まさに今、牧草収穫作業真っ只中で日々忙しくされているかと思いますが、死亡事故につながる農作業機械ですので、安全に取り扱うようお願い致します。

危険を予知しよう

●作業前に現場を想像し、危険の原因となることを予想することによって、実際に遭遇した場合に危険を回避する能力を身につけることが大切です。

●作業中の機械トラブルは、「巻き込まれる」を常に意識しトラクターのエンジンを切ることを忘れないようにすることが大切です。

自分で今日から取り組もう

いかなる状況でも、トラクターから離れるときはエンジンを停止し、サイドブレーキをかける！

服装を正しく使用

●農業機械に衣服の一部が引っかかったり、巻き込まれた結果、手や足が巻き込まれる事故も多いです。

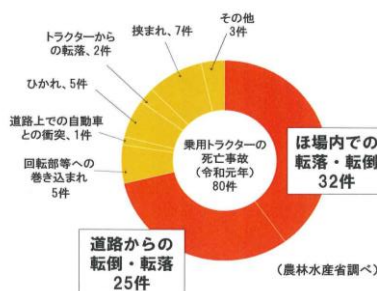
自分で今日から取り組もう

衣服の巻き込まれ防止の為、

1. 作業服の袖口を閉じます。
2. 首に巻いたタオルは服の中に入れます。
3. タオルなどでほおかぶりをしません。
4. 長い髪はまとめます。

因みに

トラクターの事故で最も多いのは、転倒転落です！



死亡事故原因の約7割が転倒・転落です

